

学校評価集計結果と要望への回答、および考察・展望

*アンケートの集約は、昨年度を上段、今年度を下段として、以下の項目に分類して経年変化がわかるようにグラフ化し、質問項目の経年変化は、◎○□△▲に分別化して表示しました。
 なお、今年度より質問項目が変わりましたので、経年変化は昨年度の関連項目のもの、新規の質問項目は今年度だけの表示としました。

A…そう思う

B…どちらかというと思う

C…どちらかというと思わない

D…そう思わない

E…無回答

◎大幅アップ（肯定的評価5%以上）

○小幅アップ（肯定的評価3%以上）

□横ばい

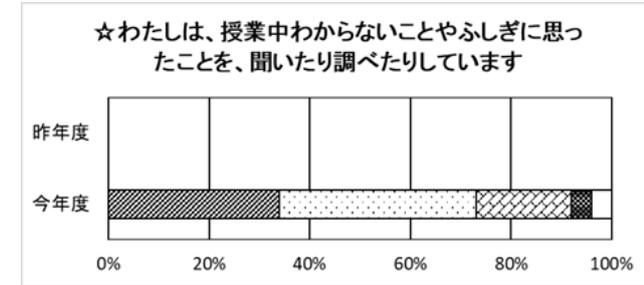
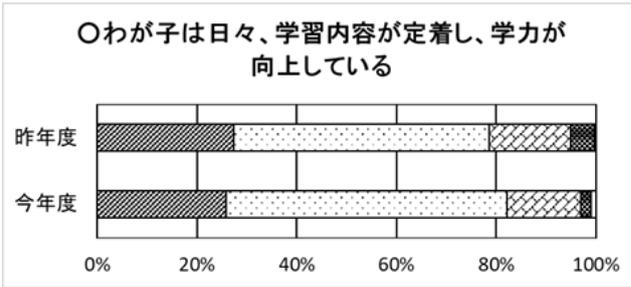
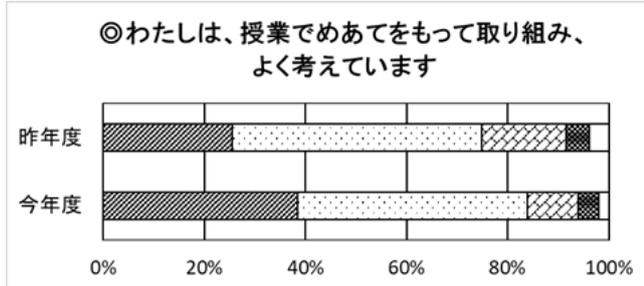
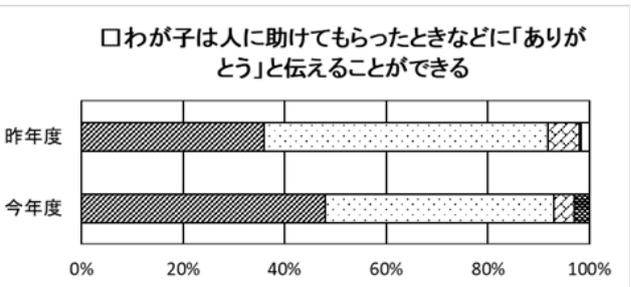
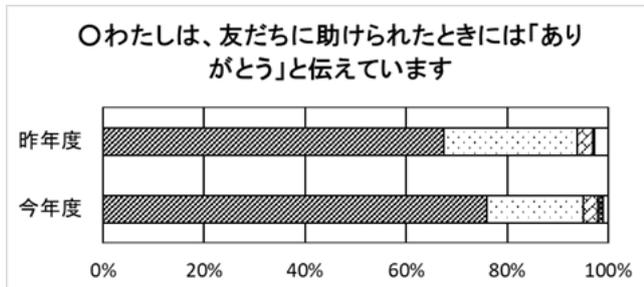
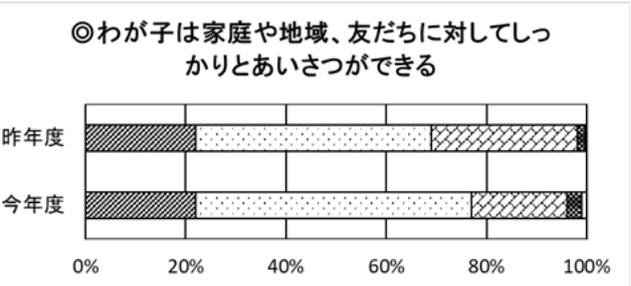
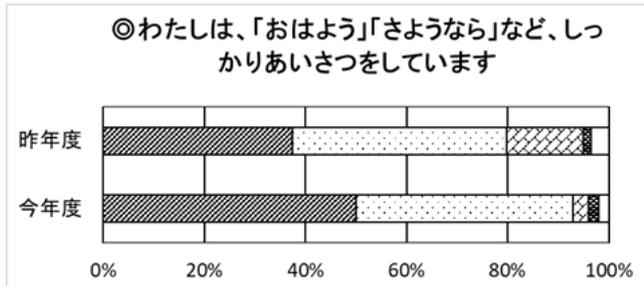
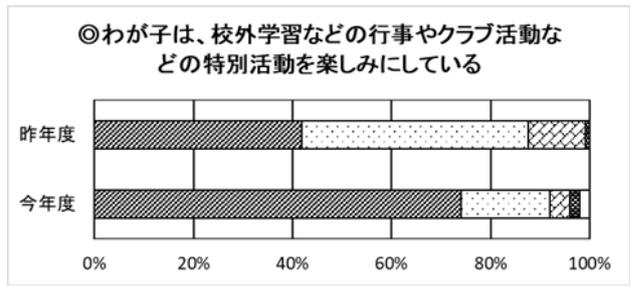
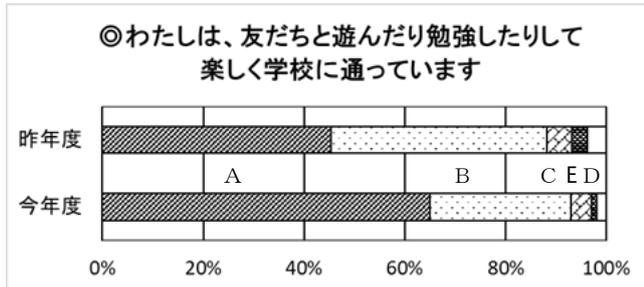
△小幅ダウン（否定的評価3%以上）

▲大幅ダウン（否定的評価5%以上）

学校生活

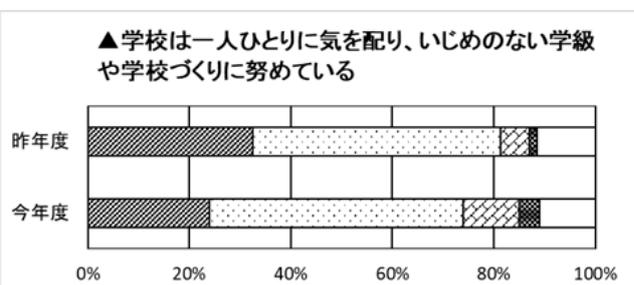
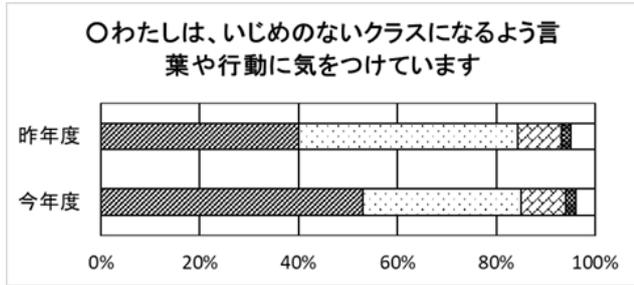
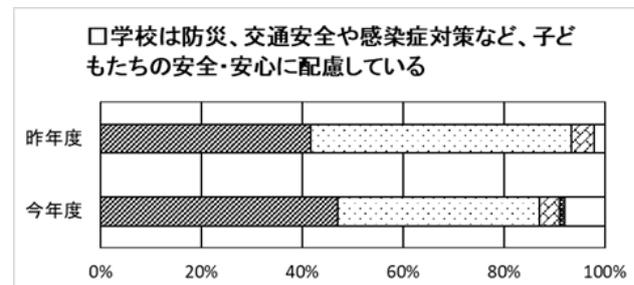
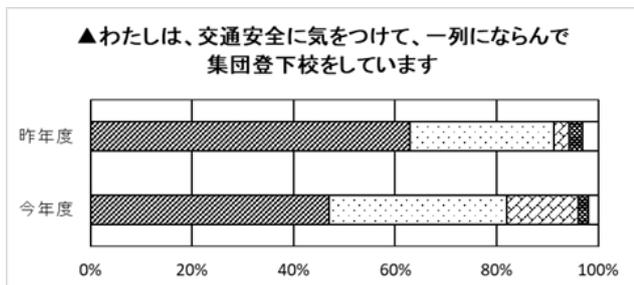
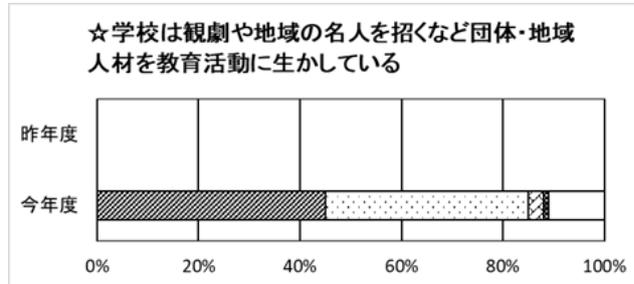
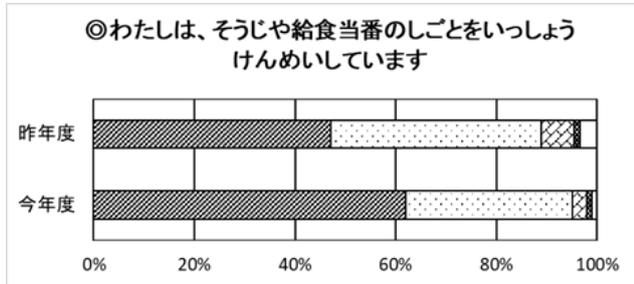
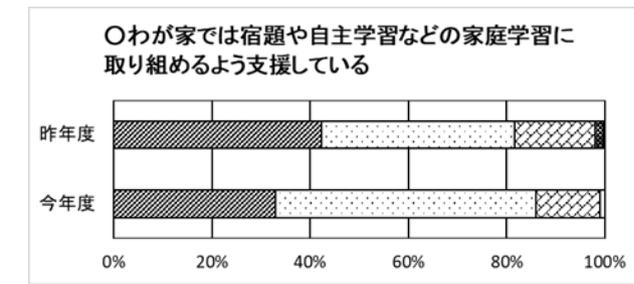
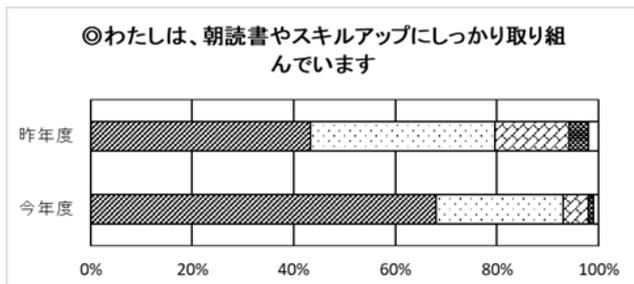
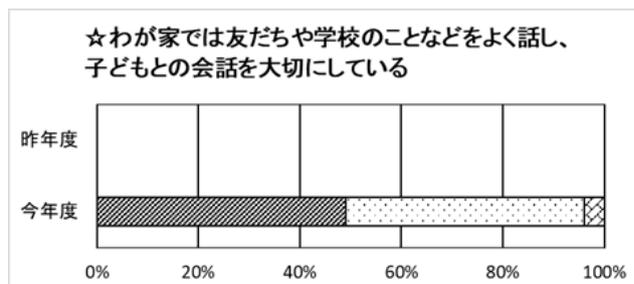
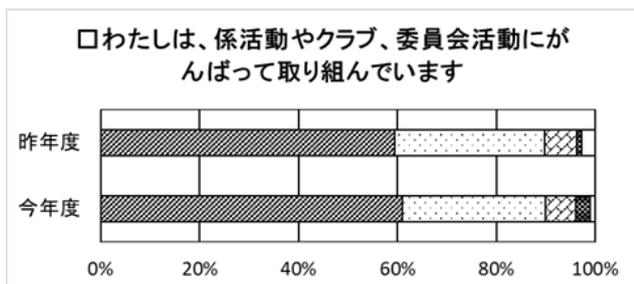
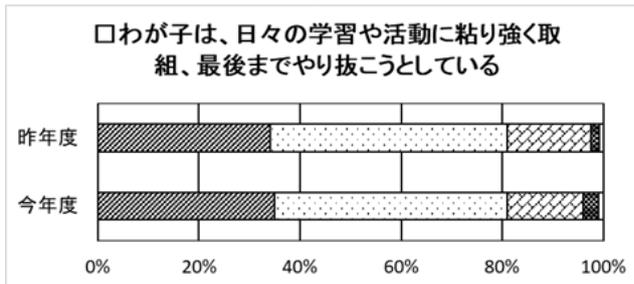
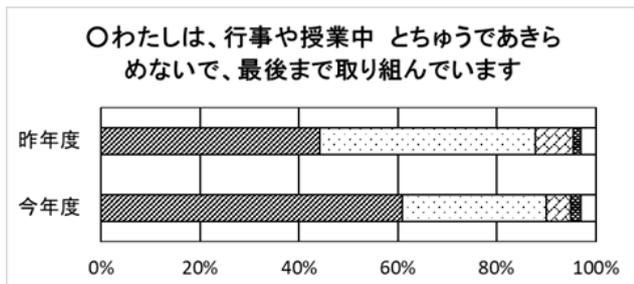
児童

保護者



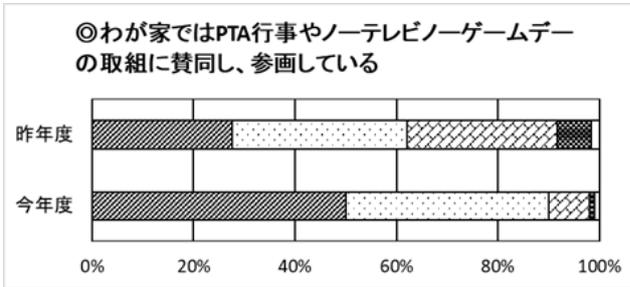
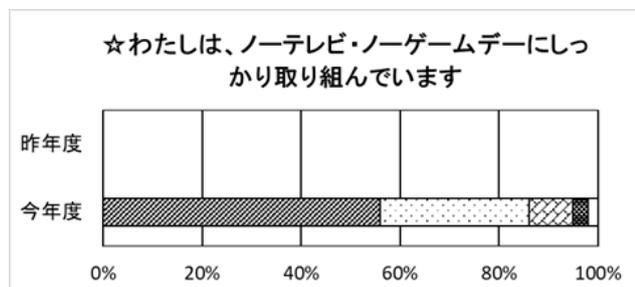
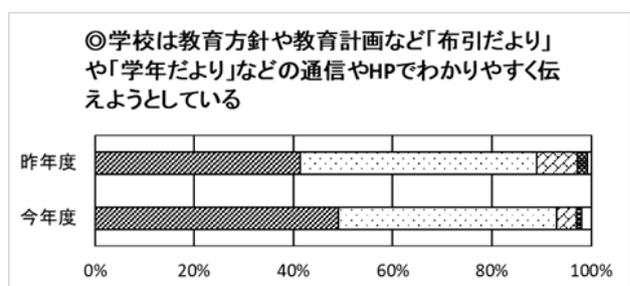
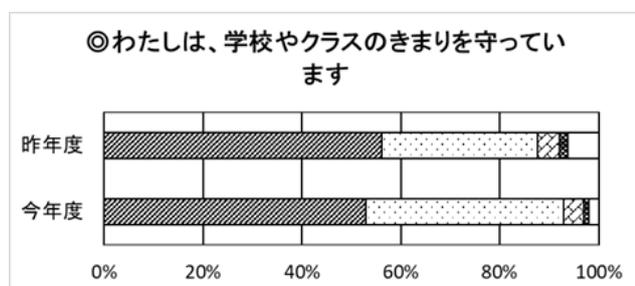
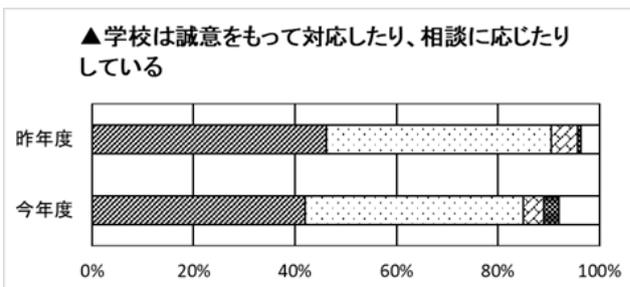
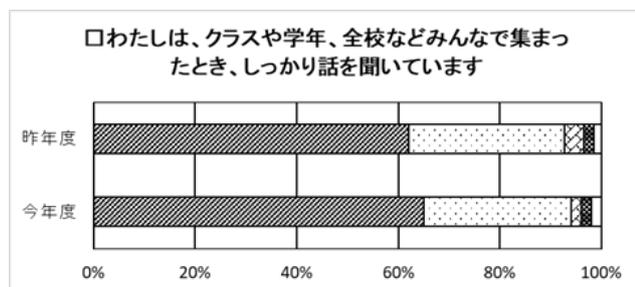
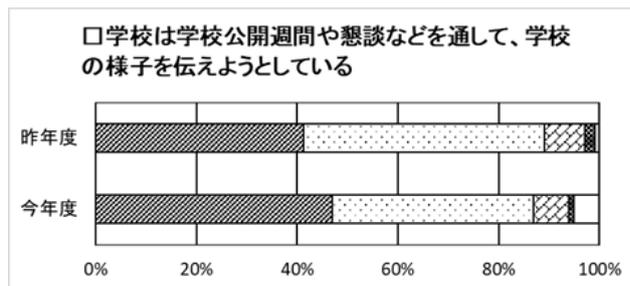
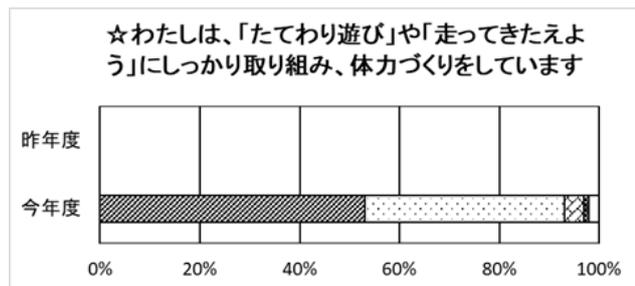
児 童

保 護 者



児 童

保 護 者



保護者アンケート自由記述紹介（抜粋）

○お礼等 Q：要望等 A：回答

- どの子ども笑顔で登校している様子を通勤途中で見ると、朝から癒されており、その笑顔があるのは、教員のみなさんをはじめ、支援員さん、地域のみなさんのお力があること。学校へ向かう足が、いつまでも生き生きとした足取りでいってくれることを願います。
- いつも丁寧に関わって頂き、安心して子どもを送り出すことが出来ます。子どもは親や先生の気付かないところで何かあっても 声にあげられないこともあると思うので、普段から子どもの様子をよく見て、変だなと思うことがあれば、気付いてあげられる大人でありたいと思います。
- 学校公開週間はいろいろな授業が観れてとても良かったです。子供は学校がとても好きです。
- メール配信やお便りなどで、学校の様子を知らせていただき、ありがとうございます。少人数の学校なので、先生方が子どもたち一人ひとりのことをよく見てくださっていると思います。ただ、子どもが何か困っていて、先生に伝えたいことがあったときに、なかなか言いにくいようで、子どもが先生に気軽に相談できる環境づくりをお願いしたいです。

Q:感染対策で、各教室の入り口にアルコールを置いてはどうでしょうか。

A: ご提案ありがとうございます。もちろん各教室の入り口にアルコールを置くことも可能ですが、毎時間毎時間のアルコール消毒は、皮膚の弱い子どもはすぐに手が荒れます。集会等で体育館へ入る前やバスの乗降前後には一人ひとりにアルコール消毒を行っています。学校では教室に入る前のハンドソープによる「手洗いの徹底」を基本として指導しています。ご承知ください。

Q:個別の教育相談はありますが、学校の行事にたいして意見をきかれたりすることはなく、どのような目的でやっておられるか、しりたいなあ。(同意見複数あり)

A: 学校便り等でお知らせをしているつもりですが、詳しい内容はPTAの役員さんや学校評議員さんにお諮りしたり伝えたりしています。今年度は本来なら学校行事アンケートを実施する予定でしたが、コロナで行事そのものが中止・縮小となり実施できず申し訳ないです。資源のない日本に世界有数の経済力があるのは、「集団でひとつのものをつくる喜び」を園や学校で小さい頃から体得しているからと分析している国もあります(欧米には行事や学活、委員会活動はありません)。日本独自の「特活」という教育領域を今後も大切に育んでいきます。

Q: コロナで行事が減る中で、自由参観を増やしてほしいです。

A: 感染レベルに配慮しながら、次年度は例年のように学期に一回は参観設定をしていく予定です。参考にですが、保護者の申し出があれば基本いつでも個人の自由参観は可能です。

Q: 学校での授業や、宿題のプリントの状況で、本人が理解できて無い事を放置せずに、補習授業を儲けて学校で苦手な所をやり直す機会を作りたいです。(同意見複数あり)

A: はい。もちろんそうしたいのですが、ひと昔前と大きく違うのはいわゆる「のこ勉」の機会を作るのが大変困難な時代になりました。善意でのこ勉を実施した学校や教員が、保護者の訴えにより仇となるケースが相次いだことがその背景にあります。「権利と補償」に係る課題です。できる限り学校で理解できるように最大限尽力していきます。

Q: 夏になると水筒のお茶がなくなって困る子ども達がいると聞きます。良い形で学校で追加して頂けると、熱中症予防になりますし、検討願います。

A: 同じ質問を年度途中でも受けました。結論から言うと水筒のお茶がなくなれば、現状は水道水で対応するしかありません。水道水は水準の高い検査を受けていますので基本的には安全ですが(水道水が飲めるのは世界196カ国中15カ国のみ)、塩素消毒されている水なので不安なご家庭もあるかとどの学校も水筒を奨励しています。薬剤師さんにも確認し、次年度より水道水に「飲料水」のマークをつけますが、十分な量の入った水筒をもたせていただくようお願いいたします。

Q: 今年はコロナの影響で行事が出来ず子供も保護者も残念でしたので、来年度は行事が出来ると嬉しいです。感染対策の工夫次第で運動会も出来ると思います。実際に東近江市以外の小中学校は運動会がありました。子供の成長の機会が減ってしまい、なぜ東近江市だけ…と教育委員会のやる気のなさを残念に感じます。(同意見複数あり)

A: お気持ちは痛いほどわかります。ただ、教育委員会や学校は公の組織ですので、市民の安全・安心がまず第一です。感染予防と教育活動の両立を目指す中での苦渋の判断で間違っていないと思います。本番で感染するというよりは、本番を迎えるまでの練習で飛沫や身体的接触により校内感染します。結果論ですが、東近江市内の小中学校では本日現在もクラスターは発生していません。

本校では学級会で話し合っただけでクラスや学年で運動会を実施したり、児童会が主体となって委員会祭りを実施したりと大人にやらされるのではなく、子どもたち自ら企画する自治的な行事が育ってきたと、一方では喜んでいきます。

加えて、今年度の児童の学校評価(アンケート)結果は、総じて思いがけず昨年度を大きく上回っており、子どもにとっては決して悪いことばかりではなかったのだと理解しています。保護者に子どもの成長を公開しづらい現状が、学校としては心苦しい限りです。

Q:子どもを車で迎えにいく親の交通マナーが悪いです。交差点・横断歩道・反対車線に停めたり、私有地のガレージのようなところも停めないでと書いてあるのに停めたりしている方がおられます。

A: はい。地域からも時々クレームが入るので、気づいた職員が注意をしていますが、多くの方はマナーを守っておられます。12月～1月までイルミネーションにより学校駐車場の常時開放を実施しましたが、今後安全管理面を考慮しながら、学校駐車場の活用も検討していきます。

Q:いつもありがとうございます。トイレのスリッパがなく上履きでトイレに行くことになっていますが、どういう意図があるのでしょうか。衛生的によいとは思えないのですが。

A: はい。おっしゃることはよくわかります。難しい判断ですが、昔の学校のトイレはタイル張りになっており、水でごしごしやっていたと思います。しかし、本校のトイレは段差がなく、水を使わない乾式トイレになっています。最近の家のトイレも多くは乾式でスリッパを置かない家庭も増えてきたと思います。現状は「水でごしごしやって菌を広げ、不特定多数の人が履くスリッパは共用」の方が特にコロナ禍では不衛生という判断をしています。もちろん、こまめな掃除は必要で、本校では児童はそうじの時間、職員は放課後の消毒をしています。

ただ、状況は刻々と変わります。スリッパの活用の課題であるこまめな消毒と共用が本当に指導可能なのか・衛生的なのか、今後も協議していくべきと思っています。

考察と展望

今年度は新学習指導要領スタートに伴い、新しい教育目標『心躍らせて 学び 励む子ども ～一人ひとりがキラリ輝く布引の子～』を掲げ、布引小アクションプランに基づき、さまざまな教育活動に取り組んできました。感染予防により教育活動は制限されましたが、児童・保護者・教職員アンケートを元に、この学校便りや教職員による3回の評価会議の内容を学校評議員会におはかりし、次年度への改善につなげていきたいと考えています。

学校評価については、今年度は経年変化で全体的に分析すると、コロナ禍であったにも関わらず、児童の評価は大きく上昇しました。学校は子どもが主役ですので、多くの子どもが前向きな学校生活を送れたと、このことについては素直に喜んでいます。一方で、いじめや人権問題など今年度学校が力を入れて取り組み、子どもの評価は上がっているにも関わらず、保護者の評価は横ばいから下降気味というものもあり、学校の家庭への発進力や相談力の低さも痛感しております。

今後は、児童・保護者や地域の意見も取り入れながら評価の高い内容は基本継続、低い内容は削減または改善し、スクラップ&ビルドで、次年度当初のPTA総会でプランをお示しします。

今年度もあと1ヶ月半あまりとなりましたが、まだ終わってはいません。最後の1日まで、子どもたち、教職員ともに「学び 励み やり抜き」ますので、どうぞよろしくお願いたします。

地域とともに歩む学校へ ～1月・2月の学校の様子～



山階（神寄）先生の5年お琴教室



6年生名人に学ぶ 藤田先生（一級建築士）



井上製菓さんによる和菓子教室



中学校の先生が小学校で授業



本校の児童は、掃除をがんばっています！超長廊下のぞうきんがけの様子



読み聞かせボランティア布田さん



いつも給食ありがとうございます



いつも環境整備ありがとうございます



もうすぐ6年生とお別れ